

「セラピー627」表面加工壁紙

エアウォッシュ

安心と爽やかな空気を室内へ・・・

○6.27ミクロン遠赤外線(育成光線)の効果により、6つの有害化学物質と2臭気を大幅に除去

○タバコの臭いの主成分を分解・消去

※タバコの臭いの主成分、「アンモニア」「アセトアルデヒド」「酢酸」「ホルムアルデヒド」を分解します。

※タバコには数多くの成分が含まれており、完全にタバコ臭を無くすことはできません。

また、喫煙室などは汚れが表面に付着し、消臭性能が損なわれるためおすすめできません。

○添加水溶液は天然素材が原料

ビニル壁紙に「セラピー627(遠赤外線放射物質)」水溶液を添加した壁紙です。

水分子マイナスイオン(遠赤外線エネルギーと微弱放電などにより作られるイオン)を生成し、この水分子のマイナスイオンにより、消臭効果、菌の繁殖抑制、VOC(シックハウス)対策としても期待されています。

※VOC：ホルムアルデヒド(高揮発性)・トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物

新築やリフォームした住宅に入居した時、目がチカチカする、喉が痛い、頭痛がするなどの症状の出る、シックハウス症候群が問題になっています。その原因の一部は、**建材**や**家具**、**日用品**などから発散するホルムアルデヒドやトルエン、キシレン他の化学物質と考えられています。

※化学物質の濃度が高い空間に長期間暮らしていると、様々な健康に有害な影響が出るおそれがあります。

(国土交通省ホームページより)

「エアウォッシュ」は、それらの種々なものから発散される有害な化学物質の内**トルエン**、**キシレン**、**エチルベンゼン**、**スチレン**、**ホルムアルデヒド**、**アセトアルデヒド**の6有害物質と**アンモニア**、**酢酸ガス**の2臭気を分解し大幅に除去します。



シックハウス対策(国土交通省ホームページより)

生活上のチェックポイント

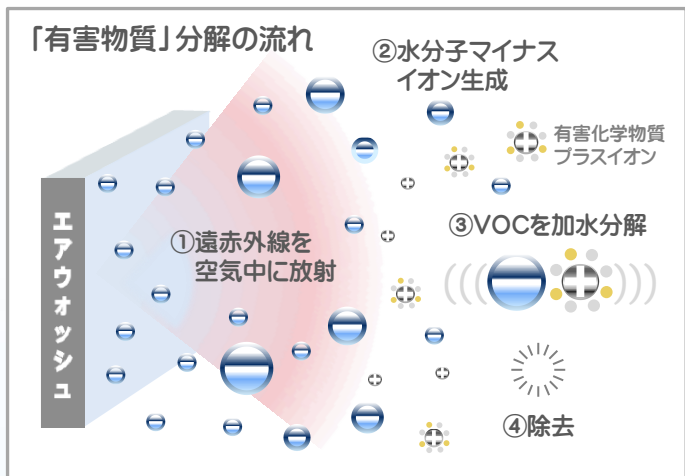
① 適切な喚起をこころがける。

② 化学物質の発生源となるものをなるべく減らす。

- 新しい家具やカーテン、じゅうたんにも化学物質を発散するものがあるので注意が必要。
- 家具や床に塗るワックス類には、化学物質を発散するものがあるので注意が必要。
- 防虫剤、芳香剤、消臭剤、洗剤なども発生源となることがある。
- 化粧品、香水、整髪料なども影響することがある。

シックハウス対策って
建材の品質や換気設備以外にも、
日用品などにも
気を付けなくっちゃ!

遠赤外線が水分子マイナスイオンを生成、VOCを加水分解

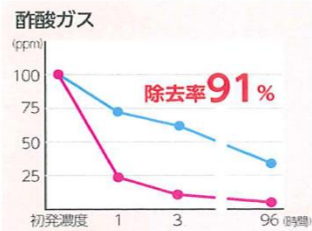
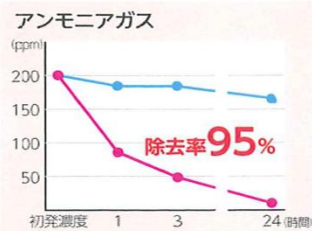
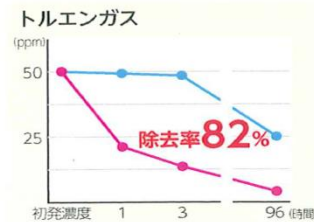
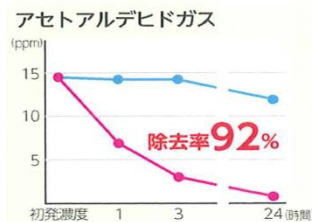
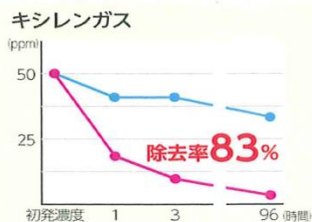
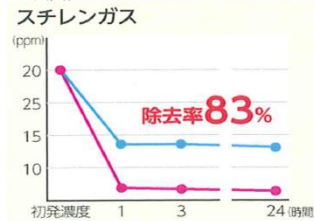
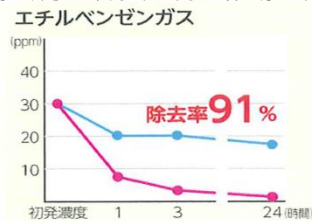
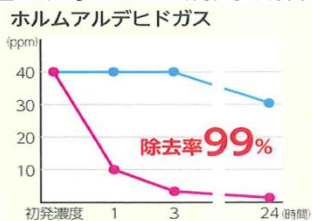


「エアウォッシュ」は、水の分子の隙間に溶かし込まれたナノ微粒子集成結晶体（遠赤外線放射物質）が壁紙の内部に浸透して、遠赤外線エネルギーを放射し続けます。空気中の水の分子は特に6~14μmの波長域の遠赤外線を良く吸収 ▶ 水分子の集団が細くなる ▶ 水分子の活性運動 ▶ 一部水分子がマイナスイオン化（ナノ微粒子を特殊な方法で融合させた電解水溶液の微弱放電によって）▶ 加水分解力が向上 ▶ プラスイオンに付着した揮発性化学物質（VOC）を分解 ▶ 高い除去性能を發揮します。この遠赤外線エネルギーは放射し続けますので、分解・除去効率が低下する事は有っても除去作用は繰り返され、快適な空間が保たれます。

水分子のマイナスイオンは、滴の近くで発生するさわやかなマイナスイオンと同じ性質のもので「一般化学的イオン」「プラズマ放電イオン」「天然鉱石配合イオン」「水分子のイオン」の内、最も人体に良いとされるマイナスイオンです。

6つの有害物質と2臭気を大幅に除去

■エアウォッシュ消臭分解性能(有害物質の除去性能評価試験)



● エアウォッシュ
● プランク(空試験)

【試験方法】

5Lのバッグに提示試料(20cm×20cmの周囲と裏面にアルミテープを貼り、表面の試料面積を18cm×18cmにしたもの)を入れ、所定濃度に調整した測定対象ガスを3L注入し、所定時間後のガス濃度を検知管により測定
※プラック(空試験):ある条件の効果を調べるために、他の条件は全く同じにして、その条件のみを除いて行う実験。
試験機関:一般財団法人カケンテストセンター

※上記の試験結果は測定値であり保証値ではありません。



「エアウォッシュ」に使用している「セラピー627」の原材料は、動植物性プランクトン化石と海洋ミネラル成分を使用しており、「セラピー627」水溶液は水と安全な炭酸ナトリウム(厚生労働省食品添加物公認)と原材料だけで、無色・無臭の安全な液体ですから安心です。

育成光線とは…。

人や動植物などにとって有効なことが知られている「遠赤外線」のうち 4~14ミクロンの波長の光線のことを特に「育成光線」と呼んでいます(人や動植物の身体に吸収されやすい「吸収光線」とも言われる)。

この育成光線は太陽光線の中で、「人にとって最適な太陽エネルギーですが、最近にわかにその有効性が注目されている」と言う医学博士がいます。

“「育成光線」で長寿生き活き健康ライフ！”を提案されている、岡山大学大学院保健学研究科教授 医学博士 放射線科専門医 上者郁夫(ジョウジャイクオ)先生はこれまでの研究から、“「育成光線」の有効性に関しては、まだまだ未知な部分もありますが、最近の研究で「育成光線」は水を弱アルカリ性にするなど、特に水に及ぼす影響が大きく、このエネルギーを身体に取り込むと人のからだの酸化作用を促し、血液の酸化を防ぎ、カルシウムの脱灰を防ぐなど、老化防止に役立ち、人を健康にするための血液浄化および、いろいろなアレルギー疾患や慢性疾患の症状緩和、さらに新陳代謝の促進など、多くの効果を有することがわかってきました”と語っています。

(注:「育成光線」を高率で放射し「マイナスイオン」も同時に生成する「皇輝石」で作成した「岩盤温熱ベッド」及び「足湿器」による臨床医学的研究結果であり、効果レベルは異なるのであくまで参考)

■ なぜ、4~14ミクロンの波長が人体に好影響をもたらすのか？

岡山大学 上者(ジョウジャ)教授は、各種セミナーで次の様に説明されています。
地球上の全ての物質は太陽光線を吸収します。そしてその吸収した波長と同じ波長の電磁波を再放射します。その波長は、その物質の「温度」で決まります。

その計算式は(ウインの法則)

$$2987 \div \text{絶対温度} = 2987 \div (273 + \text{その物質の温度}) = \text{吸収波長} = \text{再放射波長}$$

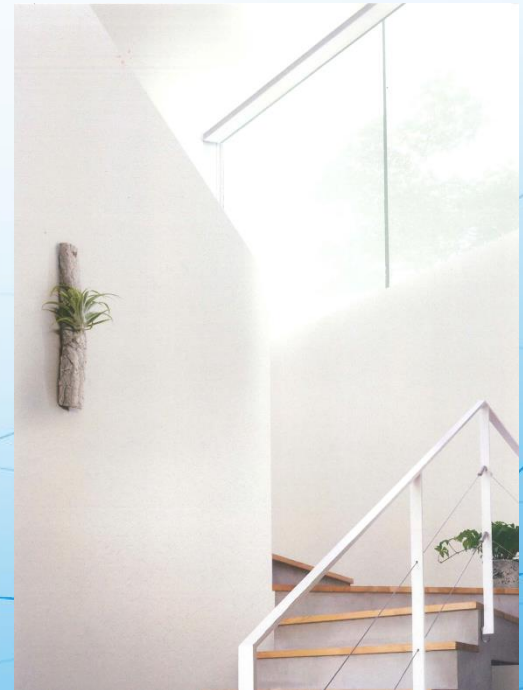
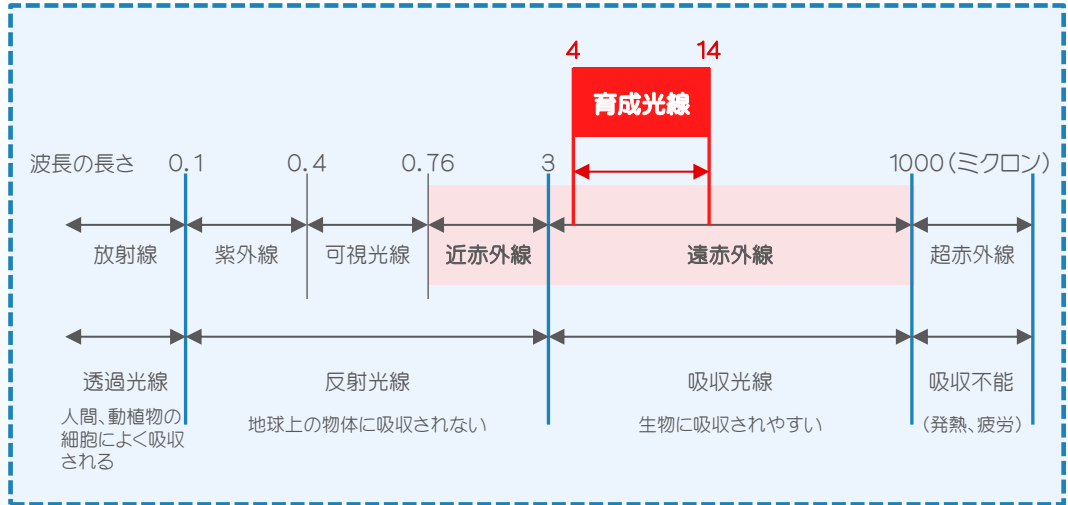
例えば37℃の体温の人間は

$$2987 \div (273 + 37) = 2987 \div 310 = 9.64$$

従って人間の吸収波長と再放射波長は約9.6ミクロンということになります。

小学校の時に「音叉」の実験をした事があるのを覚えていらっしゃいますか？

手に持った「音叉」を金の棒でたたくと、離れた場所で木箱に取り付けられた「音叉」が共鳴して、木箱から「音」が発生します。これがまさに共鳴共振運動です。波長が5ミクロン位違ってても「音叉」は反応します。それゆえ4~14ミクロンの波長が「育成光線」と呼ばれ人間や動植物に効果的に作用します。



育成光線とは、「遠赤外線」の中でも、
身体に良いと言われている、波長が4~14ミクロンの
人間や動植物の体に吸収されやすい「吸収光線」のことです。